



2021年8月10日

各位

会社名 株式会社プレイド
代表者名 代表取締役CEO 倉橋 健太
(コート番号: 4165 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員CFO 武藤 健太郎
(TEL. 050-5434-8563)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年8月10日の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、2020年12月17日に公表した2021年9月期（2020年10月1日～2021年9月30日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正（2020年10月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,211	百万円 25	百万円 △235	百万円 △238	円 銭 △6.51
今回修正予想 (B)	5,437	151	△59	△132	△3.59
増減額 (B-A)	+226	+126	+176	+105	
増減率 (%)	4.3%	504.8%	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期)	4,007	△1,079	△1,205	△1,207	△34.24

2. 修正の理由

営業利益につきまして、当初の計画から上振れ（+126百万円、504.8%増）が見込まれるため、上方修正いたしました。これは以下の要因により、売上高の上振れ見込みが当初の計画対比で226百万円に対して、売上原価と販売費及び一般管理費の合計額が99百万円の上振れにとどまる見込みであることによるものです。

(売上高)

既存顧客の契約単価及び継続率が期初の想定を超えた水準となったことによってサブスクリプション売上高が堅調に推移しており、当初の計画を上回る見込みです。

(売上原価)

データ解析基盤におけるサーバー利用の効率化施策が進捗しており、売上総利益率が改善したことによって、当初の計画を下回る見込みです。

(販売費及び一般管理費)

売上高の堅調な推移を踏まえ、人員増強やマーケティング強化のための成長投資を加速することによって、当初の計画を上回る見込みです。

経常利益、当期純利益及び1株当たり当期純利益につきまして、第1四半期において投資有価証券評価損を計上した一方で、営業利益が上振れする見込みであること、上場関連費用の支出が計画を下回ったことを踏まえ、当初の計画から上振れが見込まれるため、合わせて上方修正いたしました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後のさまざまな要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上